



地震防災マップ

地震による被害を最小限にとどめるためには、日頃から住民一人ひとりが災害について感心もち、災害時に落ち着いて行動できるよう、正しい心構えと知識を身につけておくことが大切です。

この地震防災マップは、市民のみなさんに地震の危険性に関する認識を高めてもらい、住宅の耐震化促進や家具の転倒防止など、事前の備えに役立てていただくことを目的として作成しました。

マップの使い方

- 自宅・学校・勤務先などの位置を確認し、地図上に記入しましょう。
- もっとも近い避難所を確認しましょう。
- 一度、実際に避難所まで歩いてみて、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。
- 地震防災マップは、家族みんながわかる場所に保管しましょう。

相馬市役所 建設部 建築課
〒976-8601 福島県相馬市中村字大手先13
TEL:0244-37-2178 FAX:0244-37-2252
<http://www.city.soma.fukushima.jp/>

想定地震

「宮城県沖地震」は、宮城県沖の日本海溝（海洋プレートと大陸プレートの境界部分）の大陸プレート側を震源とする地震です。過去の地震発生記録によると、平均37年に1回程度繰り返し起きており、今後30年間の地震発生確率は99%と、もっとも切迫性が高い地震といわれています。

地震の規模を表すマグニチュードは7.4で、予想される震度は市全域で震度4から5強となります。



避難所(屋内)

▲中村第一小学校	35-3168	▲山上多目的集会所	—
▲中村第二小学校	38-8104	▲川沼集会所	—
▲桜丘小学校	35-3148	▲副霊山生活改善センター	—
▲飯豊小学校	35-3209	▲小泉集会所	36-6829
▲磯部小学校	33-5009	▲中野清水転作推進技術研修施設	—
▲日立木小学校	35-2906	▲新沼コミュニティセンター	—
▲大野小学校	35-2073	▲小野多目的集会所	36-5427
▲山上小学校	32-5002	▲刈敷田集会所	35-5155
▲八幡小学校	35-3208	▲細田公会堂	38-7903
▲玉野小学校	34-2101	▲相馬地方広域水道企業団	35-6800
▲中村第一中学校	35-2237	▲東部公民館	38-8105
▲中村第二中学校	38-7101	▲大野公民館	35-2326
▲向陽中学校	35-2348	▲飯豊公民館	35-2409
▲磯部中学校	33-5510	▲八幡公民館	35-2408
▲養護学校	35-5506	▲山上公民館	32-5009
▲相馬高等学校	36-1331	▲日立木公民館	35-2901
▲相馬東高等学校	36-6231	▲磯部公民館	33-5561
▲スポーツアリーナそうま	37-2309	▲玉野公民館	34-2001
▲相馬市民会館	35-2426	▲中村幼稚園	35-3030
▲川沼体育館	35-5638	▲原釜幼稚園	38-6281
▲川原町児童センター	35-6355	▲みどり幼稚園	35-2463
▲相馬市総合福祉センター	35-1905	▲土地改良区事務所	35-3462
▲坪ヶ迫団地集会所	—	▲教育研修実践センター	36-2119
▲西山集会所	—	▲生涯学習会館	37-2240
▲石上多目的集会所	36-7108	▲道の駅そうま	37-3938
▲椎木多目的集会所	—		

避難場所(屋外)

★馬陵公園	★刈敷田東公園
★前沢目公園	★塚ノ町緑地
★桜ヶ丘東公園	★沖ノ内公園
★川沼西公園	★坪ヶ迫(ちびっこ広場)
★桜ヶ丘公園	★岩子(ちびっこ広場)
★高池前公園	★磯部(ちびっこ広場)
★新町緑地	★玉野広場施設
★高平公園	★角田公園
★坪ヶ迫東公園	★大野台公園
★松原公園	★カネボウ跡地



わが家に一番近い避難所・避難場所は、
です。

オフィス

- 机上のOA機器の落下に注意し、素早く机の下にもぐりこむ。
- エレベーターは使わない。
- 外へ逃げるときは落下物に注意する。

家

- 身の安全を確保する。
- すばやく火を消す。
- 窓や玄関の扉を開け、脱出口を確保する。
- スリッパを履き、ガラスの破片から足を保護する。
- 屋外に避難するときは必ず靴を履く。

学校

- 急いで教室から飛び出さず、机の下にもぐり、頭を保護する。
- 廊下、体育館では、ガラス窓から離れてしゃがむ。
- 揺れがおさまったあとは、教職員の指示に従う。

買い物中

- 倒れやすいショーケースから離れ、買い物かごやバッグなどで頭を保護する。
- あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従う。
- 避難のときは階段を使う。

遭ったら?

屋外

- ブロック塀や石塀、電柱からすぐ離れる。
- 間口の広い木造の建物や自動販売機には近づかない。
- ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭を保護する。

運転中

- 少しずつスピードを落とし道路の左側に止めエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで外に出ず、ラジオで地震情報を確認する。
- 車から離れるときは、キーはつけたままにし、ドアロックはしない。

エレベーター

- すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる。
- 降りるときは、火災など周囲の状況を確認かめる。
- 停電などでドアが開かなくなったら非常ボタンを押し、指示を待つ。



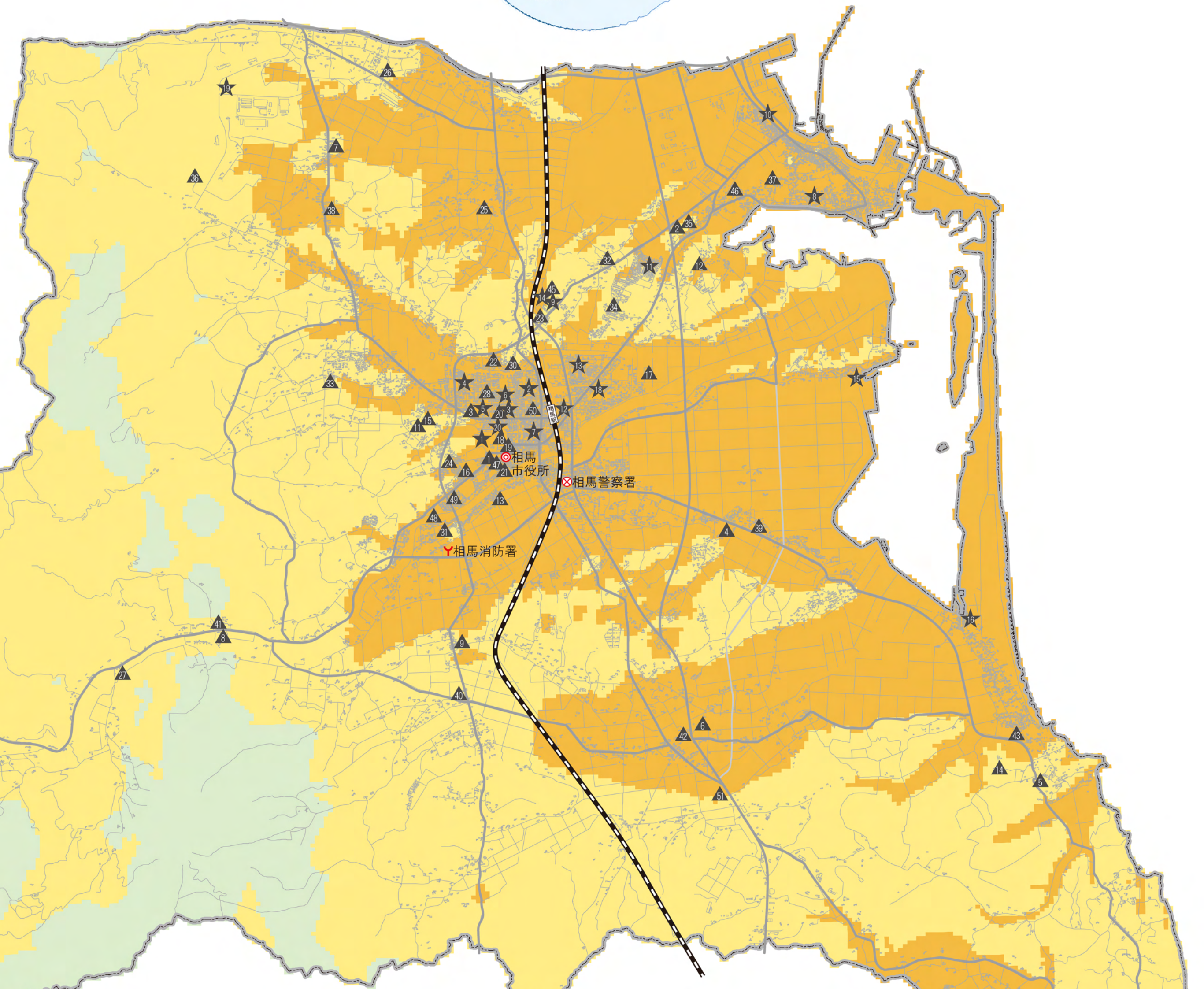
乗車中

- 座席では、足を踏ん張って前かがみになり、カバンで頭を保護する。
- 電車の外には出ず、乗務員の指示に従って避難する。
- 時刻掲示板、自動販売機などからはできるだけ離れる。



こんな場所で

地震に



「揺れやすさマップ」

「揺れやすさマップ」とは、宮城県沖地震（想定マグニチュード7.4）が発生した場合の震度分布を50mメッシュ単位で表現したものです。震度とは、地震による揺れの程度を表す指標です。

なお、地震の規模や震源の位置が異なれば、揺れやすさマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることもあります。

凡例

震度階級

5強	5弱	4
※5.00以上～5.50未満	4.50以上～5.00未満	3.50以上～4.50未満
【人間の感覚】 ●物につかまらなさと歩くことが難しい。	【人間の感覚】 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	【人間の感覚】 ●ほとんどの人が驚く。 ●歩いている人のほとんどが揺れを感じ、寝ている人のほとんどが目覚めます。
【建物内の状況】 ●棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。	【建物内の状況】 ●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	【建物内の状況】 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、座りの悪い置物が倒れることがある。

※印は計測震度を表す。計測震度とは地震計から直接得られる揺れの指標で、震度を数値で表したものです。

避難施設

- ▲避難所
- ★避難場所

市役所・警察署・消防署

- ◎市役所
- ⊗警察署
- Y消防署

道路

- 緊急輸送道路
- 市道



0 1 2 3 4 5 10 km

1/40,000